

若手グループ等と協働、 町内に点在する休耕地を活用した花づくり。

やくろまちちょうせいかい
矢黒町長生会

【団体概要】 ●所在地:人吉市矢黒町1847-1 ●電話:0966-24-3042 ●代表者:会長 桑原 勝夫 ●会員数:43名

活動の概要

老人クラブが中心になって、町内に点在する休耕地を活用した花づくり(ヒマワリ、菜の花、ケイトウ、葉ばたん、パンジー等植栽)を中心に活動し、町内景観の美化を図ると同時に、若い世代との交流の場や高齢者自身の健康増進、交流促進に寄与している。



大きく見事に開花したひまわりの花



ひまわり畑は「フラワーガーデン」と命名

事業の成果

- 町内中心部及び国道219号人吉バイパス沿いの景観の美化が進んだ。
- 町内のパワースポット巡りやフットパスの参加者及び地域住民の関心が高まり、地域の活性化につながりつつある。

活動資金・行政の活用

県からの補助金を中心で、不足分については会の特別会計から支出。事業に参加することで活動資金が高齢者会員の喜びにつながり、働く意欲にもなっている。市、県にも耕作放棄地の利活用について、積極的な指導と協力をお願いしたい。

広報(PR)の仕方

経費をかけたPR活動は十分に出来ていないが、町内にある事業所、各施設等への花の提供によるPR、口コミ等で周辺地域の関心をひいている。

ネットワークづくり

長期に放置された休耕地の活用には、工作機の利活用・操作の為に人材が必要で、町内の若い世代の協力が求められ、会員の若いグループの活躍と、町民への呼びかけも進めている。

人材(後継者)育成・組織運営

事業を展開していく為に会員約10名で推進委員会を組織し、定期的に会合を開き進めている。町内若手世代と交流・協力体制を構築することが必要で、序々に進んでいる。

課題と反省点

- 放置された休耕地を活用するに、かなりの労力・機械力の投入が必要であった。自然相手なので、長雨、害虫発生等予期しない局面に出会った。
- 若い世代の協力・交流を期待している。思うように進まないのが現状であるが、序々に関心は高まっている。

今後の展望(展開)

町内の景観の美化や人々の関心を高め、地域の活性化にはかなり貢献できたが、更に一つの事業として経済的効果を高めていくためには、栽培から商品化し販売につながる活動に発展させていく必要がある。

他団体へのアドバイス

- 町内各所に耕作放棄地が増え、景観が悪化し、害獣、害虫等の発生等で町民の生活にも影響が心配される現状に対して、高齢者グループが「里モン事業」に取組むことで地域の関心が更に高まり、地域の活性化の契機になるのではないかと。

地元の団結や女性の力が花開く地域づくりとともに 「竹」「モミジ」をシンボルとした感動する景色づくりに挑戦中!!

けいこくしらたき
渓谷白滝の会

【団体概要】 ●所在地:球磨郡五木村丙27 ●電話:0966-37-7455 ●代表者:吉松 強一 ●会員数:40名

活動の概要

平成24年度に「渓谷白滝の会」を母体に「西俣地域づくり」が開始。地域資源の再発掘や先進地視察を行った。平成25年度は女性部会を結成し、視察研修でのづくりや「食」の創造などを学び「修景プロジェクト」に着手。さらに、平成26年度は、初めての視察研修受け入れを行なった。視察研修では地域活動継続の手法を身近に学ぶとともに、修景プロジェクトに関する景観学習にも取り組んでいる。



子供たちも参加して現地調査を行いました



ワークショップ開催風景

事業の成果

- 良い景観・改善すべき景観などを抽出し、自分たちの手でつくり出す視点や手法を学んだ。
- 生活景観づくりの意識向上や、将来的なイメージの促進が図られた。
- 地元のもの(竹、紅葉)を活用し循環する景観づくりが継続した。
- 竹を活用したことで、手つかずだった竹山に手が入り、元気を取り戻しつつある。
- 土地に合ったものを発見し、景観づくりに取り組む土台がつけられた。

活動資金・行政の活用

「少しだけ儲かる仕組みを作ろう!」という認識や、地域づくり活動の活発化に伴い、経済的意欲も生まれつつある。行政には地元だけでは見えない視点などや方向性について補助金とともに後押ししてもらっている。

広報(PR)の仕方

観光協会とのタイアップや学生のフィールドワーク、村外他地域の女性グループの視察の受け入れを行っており、希望者には修景現場の散策も。また、作業をした後にはFacebookで内容を発信している。

ネットワークづくり

景色づくりのアドバイザーにお世話になっている。実際の活動では各地区からのメンバーが集まり、活動日によっては保育園児・小学生から70代の方まで幅広く携わってもらった。

人材(後継者)育成・組織運営

会長等の役職を置き、規約や任期に基づいて総会開催時に活動などを行っている。女性部会の発足と従来からの青年団で、役割分担や活動活性化が前進している。

今後の展望(展開)

修景プロジェクトでの意識改革や白滝公園活用による活動の広がりが見えてきた。女性部会は、更なる「おもてなし」のレベルアップや加工所の整備を検討中。活動が村の各地へ連鎖していくことを期待している。

他団体へのアドバイス

地元の人が大変な思いだけ、疲れるだけという活動はしないように気を付けたい。笑顔の光る、元気になる取り組みを、小さく楽しく賑やかに、見つけながら続けていきたい。



竹製のガードレールカバーで景観づくり



モミジ種子植え